

2 対策

(1) 目指すべき方向性

- へき地医療機関等に勤務する医師をはじめとした医療従事者を確保するとともに、へき地医療拠点病院等によるへき地診療所への診療支援機能の向上、複数の医師が複数の医療機関をカバーする体制の構築の促進等により、地域のへき地医療提供体制を確保します。
- へき地において継続的に医療サービスを提供できるよう、へき地医療支援機構による関係機関の調整等を行います。特に、県内全体の医師確保・育成を担う岐阜県医師育成・確保コンソーシアムとの連携を強化し、へき地を含む地域医療提供体制を確立します。

(2) 数値目標

課題	指標の種別	指標名	圏域	計画策定時	目標値 (令和11年度)
①	ストラクチャー 指標	へき地診療所数	全圏域	47ヶ所 (令和4年10月)	47ヶ所
①		へき地診療所の常勤医師数	全圏域	37人 (令和4年10月)	37人
②		代診医応需率	全圏域	100% (令和4年度)	100%
②		無医地区等への巡回診療並びにへき地診療所への医師派遣及び代診医派遣を合計年12回以上実施しているへき地医療拠点病院の割合	全圏域	81% (令和4年度)	100%
②		へき地医療拠点病院の中でへき地医療拠点病院の必須事業 ⁸⁴ の実施回数が年間1回以上の医療機関の割合	全圏域	100% (令和4年度)	100%
④		自治医科大学卒業医師の県内定着率	全圏域	67.1% (令和5年4月)	70.0%以上
① ② ⑤		へき地診療所等との間でオンライン診療を実施するへき地医療拠点病院等数	全圏域	0ヶ所 (令和4年度)	5ヶ所以上
⑥		県・へき地医療支援機構が実施する高校生・医学生向けへき地医療啓発事業の参加者数	全圏域	87人 (令和4年度)	87人以上

⁸⁴ 必須事業：へき地医療拠点病院の事業のうち、いずれかは必須で実施すべきとされている以下の事業。

- ・巡回診療等によるへき地住民の医療確保に関する事。
- ・へき地診療所への代診医等の派遣（継続的な医師派遣も含む）及び技術指導、援助に関する事。
- ・遠隔医療等の各種診療支援に関する事。